

常磐自動車道  
大野台希望の橋(鋼上部工)工事

割掛対象表参考内訳書

- ・割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- ・割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問は受けない。

令和7年11月

東日本高速道路株式会社 東北支社  
いわき工事事務所

## 割掛対象表参考内訳書

### 【共通仮設費】

割掛対象表の 項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工 事 用 機 械 分 解組立費 A	大野台希望の橋, 上部工架設施工に使用する重建設機械の分解・組立・輸送及び運搬時の損料又は賃料に要する費用をいう。	トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型） 1 6 0 t－1 台－1 往復 トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型） 3 6 0 t－1 台－1 往復	
工 事 用 機 械 分 解組立費 B	大野台希望の橋, 仮栈橋撤去施工に使用する重建設機械の分解・組立・輸送及び運搬時の損料又は賃料に要する費用をいう。	クローラクレーン（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型） 8 0 t－1 台－1 往復 クローラクレーン（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型） 2 0 0 t－1 台－1 往復	
仮設材運搬費	仮設材等（仮橋、鋼矢板、H形鋼、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	工事用仮栈橋 8 5 . 8 9 6 t－リース品－運搬距離 6 4 . 7 k m（片道距離） 3 1 . 1 8 6 t－リース品－運搬距離 7 9 3 . 0 k m（片道距離）	
仮設材運搬費 A	仮設材（H形鋼等）支保工材の運搬に要する費用をいう。	特殊支保工 5 . 7 0 4 t－リース品－運搬距離 6 4 . 7 k m（片道距離） 1 . 6 7 8 t－中古品－運搬距離 6 4 . 7 k m（片道距離）	
地質調査等費	平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他原位置試験に要する費用をいう。	基礎地盤等の平板載荷試験 8 箇所	○
現 場 溶 接 部 検 査 費	鋼桁等の現場溶接部非破壊検査に超音波探傷試験を用いる場合の試験機械の性能確認試験、施工性試験、外観試験、超音波探傷試験、報告書作成に要する費用をいう。	平均板厚（加重平均） 大野台希望の橋－2 1 . 6 m m	
非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	上向き作業 床版－4 2 箇所 側面作業 壁高欄－1 8 2 箇所（床版部・橋台部・擁壁部） 巻き立てコンクリート部－8 箇所 橋脚・橋台－2 4 箇所 下向き作業 床版－4 2 箇所	
鉄筋位置調査工	中央分離帯転落防止網設置に伴う既設橋梁の鉄筋位置調査に要する費用をいう。	あと施工アンカー－1 0 7 . 0 m <sup>2</sup>	

【仮設備工事費】

割掛対象表の 項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
足場工費	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	橋台 10 m 以上～20 m 未満－ A 2 橋台：620.6 空 $m^3$ 橋脚（張出有）10 m 以上～20 m 未満－ P 1 橋脚：正面部 369.2 空 $m^3$ 、必要期間 1 ヶ月 側面部 123.1 空 $m^3$ 、必要期間 10 ヶ月 側面部 123.0 空 $m^3$ 、必要期間 23 ヶ月※ 橋脚（張出有）20 m 以上～31 m 未満－ P 2 橋脚：正面部 481.0 空 $m^3$ 、必要期間 1 ヶ月 側面部 320.6 空 $m^3$ 、必要期間 10 ヶ月 P 3 橋脚：正面部 636.2 空 $m^3$ 、必要期間 1 ヶ月 側面部 212.1 空 $m^3$ 、必要期間 10 ヶ月 側面部 212.1 空 $m^3$ 、必要期間 23 ヶ月※ P 5 橋脚：正面部 590.1 空 $m^3$ 、必要期間 1 ヶ月 側面部 196.7 空 $m^3$ 、必要期間 9 ヶ月 側面部 196.7 空 $m^3$ 、必要期間 23 ヶ月※ 橋脚（張出有）31 m 以上～40 m 未満－ P 4 橋脚：正面部 692.9 空 $m^3$ 、必要期間 1 ヶ月 側面部 462.0 空 $m^3$ 、必要期間 9 ヶ月  ※上部工昇降足場を兼ねるもの	
支保工費	コンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるための、仮設の支保構造物に要する費用をいう。	<b>【くさび結合支保工】</b> A 1 橋台張出部：3.1 空 $m^3$ —載荷々重 1.4 t / $m^2$ —桁下高さ 6.5 m P 1 橋脚左側張出部：11.9 空 $m^3$ —載荷々重 7.6 t / $m^2$ —桁下高さ 3.9 m P 1 橋脚右側張出部：11.9 空 $m^3$ —載荷々重 7.0 t / $m^2$ —桁下高さ 3.9 m P 2 橋脚左側張出部：11.9 空 $m^3$ —載荷々重 7.6 t / $m^2$ —桁下高さ 3.9 m P 2 橋脚右側張出部：11.9 空 $m^3$ —載荷々重 7.0 t / $m^2$ —桁下高さ 3.9 m P 3 橋脚左側張出部：11.9 空 $m^3$ —載荷々重 7.6 t / $m^2$ —桁下高さ 3.9 m P 3 橋脚右側張出部：11.9 空 $m^3$ —載荷々重 7.0 t / $m^2$ —桁下高さ 3.9 m P 4 橋脚左側張出部：11.9 空 $m^3$ —載荷々重 7.6 t / $m^2$ —桁下高さ 3.9 m P 4 橋脚右側張出部：11.9 空 $m^3$ —載荷々重 7.0 t / $m^2$ —桁下高さ 3.9 m P 5 橋脚左側張出部：11.9 空 $m^3$ —載荷々重 7.6 t / $m^2$ —桁下高さ 3.9 m P 5 橋脚右側張出部：11.9 空 $m^3$ —載荷々重 7.0 t / $m^2$ —桁下高さ 3.9 m A 2 橋台張出部：39.2 空 $m^3$ —載荷々重 2.3 t / $m^2$ —桁下高さ 10.3 m  <b>【梁の支保工】</b> 鉄筋位置調査工：9.0 $m^2$ あと施工アンカー削孔工：104.0 m あと施工アンカー注入工：104.0 m P 1, P 2, P 4 橋脚：鋼材—使用回数 3 回—存置期間 3 ヶ月 リース品—2.852 t 中古品—0.839 t	○

		P 3, P 5 橋脚：鋼材－使用回数 2 回－存置期間 2 ヶ月 リース品－2. 8 5 2 t 中古品－0. 8 3 9 t	
P C 鋼材機械器具費	P C 鋼材引張の作業に使用する機械器具に要する費用をいう。	緊張ジャッキ等 － 1 式	
吊足場工費（標準型側面）	橋梁の施工に必要な主体足場及び標準型側面（側面足場に防護が無い構造）の吊足場工に要する費用をいう。	架設足場（標準型側面）少数鈹桁区間－2 0 4 9. 1 m <sup>2</sup> 、細幅箱桁区間－2 1 9 8. 9 m <sup>2</sup> 、必要期間 6 ヶ月 床版足場（標準型側面）少数鈹桁区間－2 0 4 9. 1 m <sup>2</sup> 、細幅箱桁区間－2 1 9 8. 9 m <sup>2</sup> 、必要期間 1 2 ヶ月	○
吊足場工費（防護型側面）	橋梁の施工に必要な主体足場及び防護型側面（側面足場に防護がある構造）の吊足場工に要する費用をいう。	架設足場（防護型側面）細幅箱桁区間－2 4 0. 8 m <sup>2</sup> 、必要期間 6 ヶ月 床版足場（防護型側面）細幅箱桁区間－2 4 0. 8 m <sup>2</sup> 、必要期間 1 2 ヶ月	○
ワイヤブリッジ防護工費	橋梁上部工の架設に必要なワイヤブリッジ防護工に要する費用をいう。	ワイヤブリッジ防護工－2 8 9 0. 1 m <sup>2</sup> 、必要期間 4 ヶ月	

### 【雑工事費】

割掛対象表の 項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
目地材費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	目地板 t = 2 c m : 1. 8 m <sup>2</sup>	○
橋面養生費	床版コンクリートの打設後のコンクリートの養生に要する費用をいう。	4, 1 0 9. 4 m <sup>2</sup> －足場板の転用回数－4 回	
床版打継目型わく費	床版コンクリート打継目の型わくに要する費用をいう。	合板 － 5 0. 6 m <sup>2</sup>	
壁高欄目地板費	壁高欄の縁切りを行うために設ける目地板に要する費用をいう。	目地板 t = 1 c m : 1. 8 m <sup>2</sup> t = 2 c m : 1. 0 m <sup>2</sup>	○
シーリング材	下フランジの鋼材と橋脚天端のコンクリートとの接触面に充填するシーリング材の費用をいう。	シーリング材 － 1 3. 5 L	○